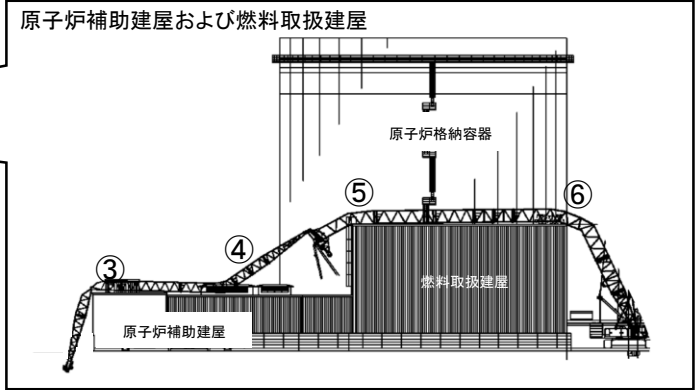
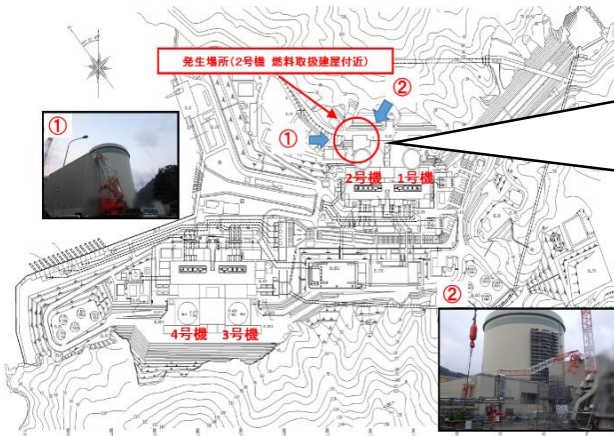


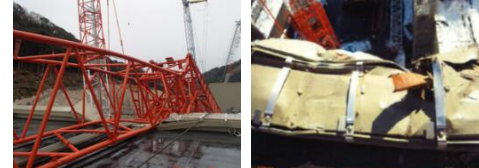
## 1. クレーン倒壊の状況と点検結果



③(原子炉補助建屋 東側屋上パラペット)  
左:撤去前、右:撤去後

④(原子炉補助建屋 屋上)  
左:撤去前、右:撤去後

⑤(燃料取扱建屋 東側屋上パラペット)  
左:撤去前に手前から撮影、右:撤去後に真上から撮影



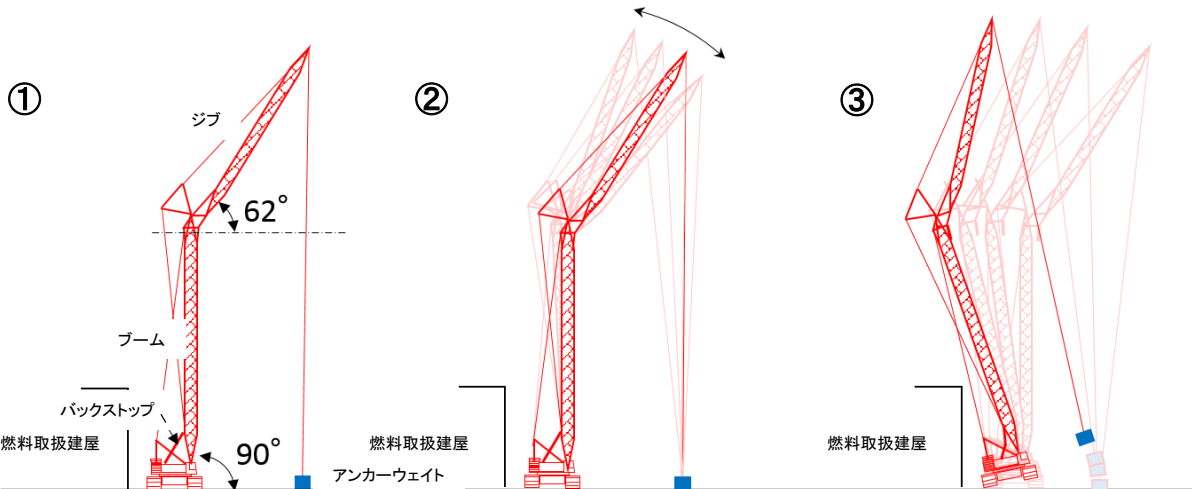
⑥(燃料取扱建屋 西側屋上パラペット)  
左:撤去前に手前から撮影、右:撤去後に真上から撮影



### 点検結果

平成29年1月26日から29日にかけて、原子炉補助建屋等を点検した結果、2号機燃料取扱建屋のパラペットや原子炉補助建屋屋上の配管の保温材等に損傷が認められたが、両建屋や安全上重要な設備等(使用済燃料ピット、1次系純水タンク等)に異常がないことを確認した。

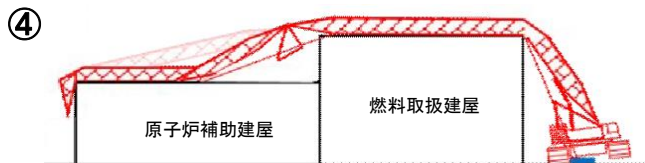
## 2. クレーン倒壊に至る想定メカニズム



①クレーンには5tのアンカーウェイトを設置し、待機状態としていた。

②発電所構内の風が急に強まり、クレーンが前後に揺れ始めた。

③クレーンに瞬間的に強風が吹きつけ、ブームを支えていたバックストップが変形し、支えを失ったブームがクレーン後方へ倒れ始めた。(瞬間風速40m/秒以上と想定)



④ブームが燃料取扱建屋に接触したため、ブームが折れ曲がり、燃料取扱建屋の屋上へ倒れた。それに伴いジブもクレーン後方へ折れ曲がり、原子炉補助建屋の屋上に倒れた。

### 【バックストップのイメージ】



変形したバックストップ

正常なバックストップ